

第6章 二度の世界大戦と日本

学習を始めよう ～大正・昭和初期の暮らしと社会～

教科書 p. 208～209

Q1 写真「昭和初期の百貨店」と「東京を走るバス」では、どのような人たちが働いているでしょうか。

●写真「昭和初期の百貨店」と「東京を走るバス」で働いている人をあげてみよう。

その人たちは、どのような姿をしているかな。

百貨店の店員。洋服を着ている男性と、和服を着ている女性が働いている。

バスの横に立っている女性。洋服を着ている。

車掌や、案内係、バスガイドのような仕事だろうか。

など

●教科書 p. 208～209 の写真から、町や人々の様子を書き出してみよう。

明治時代と比べて、変化した点を探してみよう。

男性には、スーツを着た人と和服を着た人がいる。帽子をかぶった人が多い。

女性は、和服を着ていることが多い。

明るい電灯がついている。百貨店には、同じ商品が大量に並べられている。

バス、地下鉄などの乗り物が発達している。

など

Q2 百貨店や地下鉄の登場で人々の生活はどのように変化したでしょうか。また、これらはなぜ登場したのか考えてみましょう。

●百貨店や地下鉄の登場によって、人々の生活にどのように変化したかな。

人々が買い物を楽しんだり、高級なものを買ったりするようになった。

地下鉄やバスで、遠くへ出掛けることができるようになった。

駅の周りに人が集まるようになった。町の景観が変わった。

など

●百貨店や地下鉄は、どのような背景で登場したのだろうか。

大きな建物や、地下鉄を作る技術が外国から輸入された。

殖産興業によって経済が発達し、人々が交通費を使って出掛け、百貨店で買い物をするようになった。

工場での大量生産ができるようになって、ものが豊かになった。

など

Q3 大正時代から昭和時代にかけて、日本の社会にどのような変化が起こったのか、予想してみましょう。

技術が発達し、バス（車）や地下鉄、電灯など、便利なものが増えた。

人々が、バスや地下鉄のある都市に集まるようになった。

人々が^{ゆうふく}裕福になって、娯楽が増えた。

明治時代に目指していたように、西洋のような生活ができるようになった。

など

→人々の暮らしの様子については教科書 p.224～225 で、くわしく学習するよ。